

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）				対象年度		令和5年度		
事業番号	3	事業名	まちづくり協議会設立運営支援事業		担当課		たつせがある課	
			(大事業名) 地域振興事業		予算区分（款-項-目-中事業）		2-1-8-4 まちづくり協議会設立運営支援事業	
					決算書ページ		64 ~ 一般	
総合計画	基本目標	1	「やってみたい」でつながるまち		事業開始の背景	高齢化・人口減少・大規模災害の課題を乗り越え、将来にわたって住みよい長久手市にするために、地域住民自らが地域の将来を考え、地域が一体となって、地域コミュニティの活性化を図り地域課題の解決に取り組む必要がある。		
	政策	1	地域共生を支える人づくり					
	施策	(1)	地域の担い手づくりの推進					
	開始年度		H27					
その他	終了予定年度		<input type="checkbox"/>	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	未定		
	根拠法令等		みんなでつくるまち条例					
	関連計画		なし					
I 基本情報	アウトプット（詳細はⅡへ）				アウトカム（詳細はⅢへ）			
	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
	【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 60,000人		【アクションプラン指標】 まちづくり協議会の開催数 まちづくり協議会設立準備会の開催数 【その他の指標】		まちづくり協議会等のまちづくり組織が行う地域活動に参加し、地域でのつながりをつくる ことができる。 (成果指標名) 概ね各小学校区単位ごとのまちづくり組織の数【累計】		大 事 業 共 通 市民一人ひとり及び団体同士のつながりが生まれ、地域の問題を地域で解決することができる。	
	【事業内容】 地域の担い手づくり、地域の人たちがつながり、地域を支える人が育つまちを目指すため、多くの市民が市民活動や地域活動に参加しやすくなる環境の整備等による支援を行います。							

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ	区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度
		1	【アクションプラン事業】 まちづくり協議会議の実施回数（役員会、運営委員会）【単年】（①西小学校区まちづくり協議会、②市が洞小学校区まちづくり協議会、③北小学校区まちづくり協議会）	回	基準値 ①24回 ②14回	見込	44	50	50	50	
			目標値 ①24回、②14回、③6回	実績	24						
2	【その他指標】 概ね各小学校区単位ごとのまちづくり組織の数（組織）	組織	基準値 -	見込		3	3	3	6		
			目標値 -	実績							
3			基準値	見込							
			目標値	実績							
4			基準値	見込							
			目標値	実績							
エピソード	事業開始からの経緯										
	平成29年4月に西まち協、平成30年11月に市が洞まち協が設立された。また平成30年7月から北まち協準備会が設立され、まち協設置に向けた協議が進んでいる。										
	R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
西、市が洞小学校区では、まちづくり協議会がさまざまな主体と連携した事業を実施することができた。 北小学校区では、協議会の設立までには至らなかったものの、交流会の実施、広報紙の作成により、地域住民に対してまちづくり協議会の設立に向けて動いていることを周知することができた。											

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標								
		概ね各小学校区単位ごとのまちづくり組織の数【累計】			R1 年度		R2 年度		【現状】 R5 年度		R7 年度		R10 年度
					2		2		2		3		6
		成果達成状況					指標目標値の根拠						
	C		A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					まちづくり協議会設立支援事業の目的は地域課題の解決のための活動に対する支援、それらの活動が安心してできるような環境を作ることが目指すべきところであるため、成果指標を概ね各小学校区単位ごとのまちづくり組織の数（組織）とする。					
	評価の理由、分析												
	まちづくり組織の設立については、地域住民の声を聞きながら、丁寧に進めていくべきものであるため、目標値にとらわれず、地域の意向に沿った支援を進めていく。												
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）			今後の方向性の理由								
		B		A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		総合計画において、概ね小学校区単位の地域でまちづくり組織の設置、運営を支援することとなっていることから、この方針を今後も継続していく。							
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）											
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度			
1		概ね小学校区単位の地域でのまちづくり組織の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	今後、北、南、長小、東小学校区においても、地域との協議を進め、まちづくり組織の設立の支援を行う。									
2			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止										
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											

IV 費用	令和7年度予算の方向性 (PLAN)	R7年度の費用 (R6年度比)		(単位：千円)	R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度			
		A	A. 現状維持 B. 拡充	事業費	予算	予算	決算	予算	決算		
			C. 縮小 D. 廃止		14,300	14,300	9,127	14,300	6,845		
		理由			特定財源	合計額					
		今後も概ね小学校区単位の地域主体のまちづくりを実施するために交付金が必要である。				(内 国費)					
						(内 県費)					
						(内 諸収入)					
						(内 その他)					
		積算額			一般財源	14,300	14,300	9,127	14,300	6,845	
		西小学校区 5,330千円 市が洞小学校区 4,330千円 北小学校区 4,330千円 南小学校区 310千円			R6年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、 (R5年度予算額) >						
西小学校区 5,330千円 (5,330千円) 市が洞小学校区 4,330千円 (4,330千円) 北小学校区 4,330千円 (4,330千円) 南小学校区 310千円 (310千円)											
3年間の推移											